
はじめに

道ってなんだろう？

家を出ると、そこには道があります。私たちは、その上を歩き、自転車で走り、ドライブしたり、ときにはそこで遊んだり、立ち止まってしゃべったりもします。

下町の路地、大都会の街路、列島を縦横に走る高速道路、海峡をつなぐトンネルや架け橋など、もともとは、人が踏み固めたところからはじまった道ですが、今では、いろいろな種類があって、それぞれが私たちのくらしや経済活動に欠かせないものとなっています。

「向こう三軒両隣り」という言葉を知っていますか。向こう三軒とは、道をはさんだ向かい側の家を指していて、地域社会の最小単位ともいえる近所のことです。この言葉から、むかしから道が地域社会の中核になっていることがわかります。道は人々のくらしや地域社会を支え、その上を多くの人、もの、情報が行き交うことによって、歴史が進み、文化が育まれてきました。

わが国の歴史の中では長い間徒歩による移動が中心で、現在、道路を当たり前のように走っている自動車は、今からおよそ100年前の明治30年代前半にはじめて輸入され、本格的な普及は戦後になってからのことです。

昭和31（1956）年、名神高速道路建設の調査のため来日したワトキンスは、「日本の道路は信じがたいほど悪い。工業国にしてこれほど完全にその道路網を無視してきた国は日本のほかにない」と評したほどです。

自動車の急激な増加に道路整備が追いつかず、交通渋滞はもちろんのこと、雨が降ればわだちばれやぬかるみの中で車が動けなくなる光景があちこちで見られるなど、悲惨な道路事情だったようです。

人の移動の2割、ものの移動の1割程度しか道路を利用していなかった頃のはなしです。

その後、車はふえ続け、道路整備も飛躍的に進み今では、なんと約7500万台の車が道路を利用しています。

さすがに「ぬかるみ」は見られなくなりましたが、都市部や観光地などでの交通渋滞は解消できていないところがたくさんあります。帰省シーズンでの数十kmに及ぶ高速道路の大渋滞のニュースがなくなる日がくるのはまだまだ先ようです。

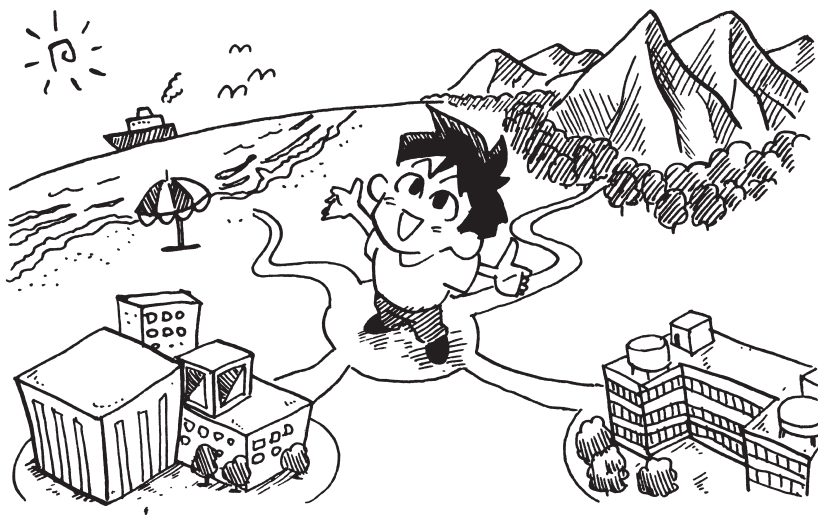
それでも、道路の整備が進んだことで通勤や通学がしやすくなり、買い物やレクリエーション・旅行などの日常生活の範囲が広がりました。輸送時間の短縮で、いろいろな地域の生鮮食料品や日用品などが手に入れやすくなりました。宅配便が翌日には届けられるようになりました。救急車や消防車もすばやく駆けつけられるようになりました。物資の移動がスムーズになり、全国各地でいろいろな産業が発展するようになりました。地域間の交流や連携がしやすくなり、都市と地方の均衡のとれたまちづくり、地域づくりが進められるようになりました。

道は、長い歴史の中でまちや地域を区画し、まち並みをつくり、都市の形をつくってきています。現在でも、新しい道路ができると、その沿道には次々と商業施設や住宅などができます。道路によってまちは良くもなり、住みにくくもなったりします。

道はまた、人々が集い、憩うための活動空間としても利用されています。路地は近所のコミュニティづくりの場所として、大通りはまちのシンボルになったりお祭りやイベントなどにも利用され、人々の出会いや触れ合い、ときには別れの場所にもなっています。

そして、火事や地震などの災害が起きると救急・消防活動や避難路、緊急輸送路として、また、災害が拡大するのを防ぐための防災空間としての役割もっています。

阪神・淡路大震災でも道路が火災の延焼を防ぐのに役に立ったことは記



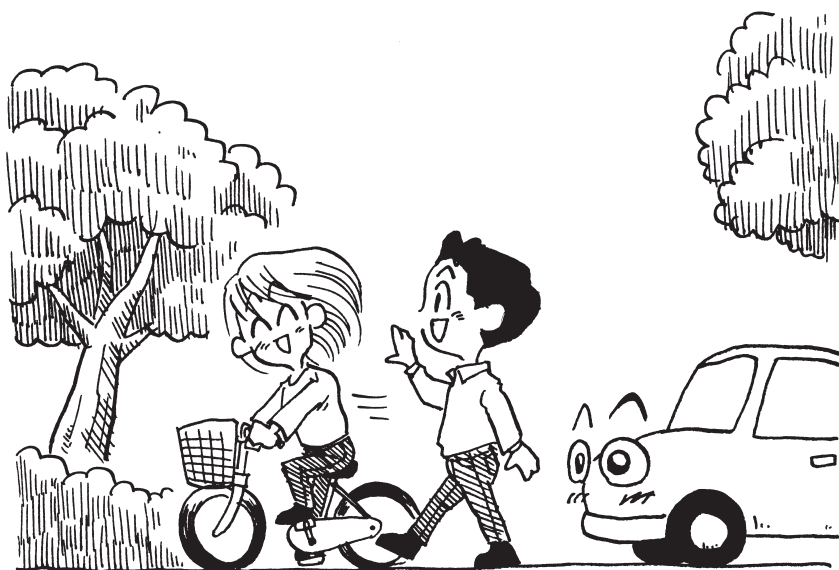
憶に新しいことです。

さらに、道路の地下は私たちの生活に欠かせない水道・下水・ガス・電線などの通り道としての役割もあります。大都市では、地下鉄も通っています。

このほかにも、道路は通風、採光、修景などを確保するための空間としての役割もあります。

このように、道路は私たちの生活の中でなくてはならない社会生活の基盤そのものであり、身近にありすぎてまるで空気のような存在ともいえるのではないのでしょうか。

前述のワトキンスは、調査から14年後の昭和44（1969）年5月、東名高速道路の開通式に招待されて、「かくも短期間に道路の建設を成し遂げた



国は世界にない」と述べています。ワトキンスが、今の日本の道路を見ればなんというでしょう、想像してみると楽しくありませんか。

日本人は駆け足の民族といわれます。明治維新後しかり、戦後しかりです。

道路建設でも最初的高速道路の建設から40年後には明石海峡大橋という世界最長の橋を建設しています。その間、道路建設に携わってきた多くの人々の情熱と努力により技術も進歩してきました。道づくりも現在は変革の時代といわれています。欧米先進諸国に追いつくことを目標に整備を進めてきたこの50年を振り返れば、いつも変革が求められてきたはずで

す。

これまでの道を振り返ることで、新しい道の姿が見えてくるかもしれません。

目 次

はじめに：道ってなんだろう？	i
----------------------	---

1

道のおいたち

1-1 道路（道）はいつ頃からできたのですか？	2
1-2 むかしの日本の道路にはどんなものがあるのですか？	4
1-3 むかしの海外の道路にはどんなものがあるのですか？	6
1-4 江戸時代の道路はどのようなものだったのですか？	8
1-5 江戸時代の街道などの交通政策はどのようなものだった のですか？	10
1-6 明治時代に入ると道づくりはどのように変わったのですか？	12
1-7 高速道路はいつ頃からつくられてきたのですか？	14
1-8 道路についての法律はいつ頃からあるのですか？	16
1-9 道路を舗装するようになったのはいつ頃からですか？	18
1-10 道路に並木を植えるようになったのはいつ頃からですか？	20
1-11 過去の大火災や震災は、道づくりにどのような影響を与えてきた のですか？	22
1-12 むかしの人は何を頼りに道を利用していたのですか？	24
1-13 むかしの人はどのように道を利用していたのですか？	26
1-14 むかしの人は道のことをどのように考えていたのですか？	28

2

道のいろいろ

- 2-1 「道」という字の由来や意味はなんですか？……………32
- 2-2 道路の種類には、どのようなものがあるのですか？……………34
- 2-3 道路の「起点・終点」はどのようになっているのですか？……………36
- 2-4 道の名前はどのようにしてつけるのですか？……………38
- 2-5 「通り名」はどうやってつけるのですか？……………40
- 2-6 「バイパス」とはなんですか？……………42
- 2-7 「高規格幹線道路」や「地域高規格道路」とはどのような道路ですか？……………44
- 2-8 「シンボルロード」と呼ばれるものはなんですか？……………46
- 2-9 「日本風景街道」とはなんですか？……………48
- 2-10 国道でも車が通れない区間があるのですか？……………50
- 2-11 「道の駅」とはなんですか？……………52
- 2-12 「標識」にはどんなものがあるのですか？……………54

3

道路をつくる、環境を考える

- 3-1 道路はどのような手順でつくるのですか？……………58
- 3-2 道路をつくり管理するのに必要な財源はどうしているのですか？…60
- 3-3 道路を整備することによる効果は、どのようなものがあるのですか？……………62

3-4	将来の交通量はどのように推計するのですか？	64
3-5	道路をつくる時自然や環境のことはどのように考えている のですか？	66
3-6	道路をつくる時、周りの景色のことはどのように考えている のですか？	68
3-7	道路の幅や車線数はどのようにして決めるのですか？	70
3-8	道路をつくる時の速度や制限速度はどのようにして決める のですか？	72
3-9	道路の路線位置（ルート）はどのようにして決めるのですか？	74
3-10	道路をつくる時に私たちの意見を取り入れてもらえる のですか？	76
3-11	道路はどのような構造からできているのですか？	78
3-12	橋のかたちはどのようにして決めているのですか？	80
3-13	高速道路のインターチェンジの場所はどのようにして決める のですか？	82
3-14	歩行者のための道路はどんな工夫をしているのですか？	84
3-15	日本の道路は完成したのですか？	86

4

道路を守る、環境を守る

4-1	道路の維持や管理はどうしているのですか？	90
4-2	老朽化する道路は今後どのようなようになるのですか？	92
4-3	道路の災害にはどんなものがあるのですか？	94

4-4	今後、阪神・淡路大震災クラスの地震が起きても道路は大丈夫 ですか？	96
4-5	落石や崖崩れなどから道路を守るためにどんな工夫をしている のですか？	98
4-6	雪の多い地方ではどんな工夫をしているのですか？	100
4-7	海岸沿いでは道路にどんな工夫をしているのですか？	102
4-8	道路を走る車には大きさや重さの制限があるのですか？	104
4-9	大雨や地震などによる道路の通行規制はどのようにして決める のですか？	106
4-10	悪天候などでも車が安全に走るためにどう工夫していますか？	108
4-11	道路や交通の監視はどのように行われているのですか？	110
4-12	交通事故を防ぐためにどんな工夫をしているのですか？	112
4-13	地球が温暖化していると聞いていますが、道路と関係がある のですか？	114
4-14	トンネルの中の汚れた空気に対しどういう工夫をしていますか？	116
4-15	車が出す騒音や振動などに対し道路ではどんな対策をしている のですか？	118
4-16	生活環境に配慮した道路の事例にどんなものがありますか？	120

5

道路を利用する、道をいかす

5-1	交通渋滞はどうして起きるのですか？	124
5-2	交通渋滞の対策にはどのようなものがあるのですか？	126

5-3	カーナビゲーションはこれからどのようなものになっていく のですか？	128
5-4	「スマートウェイ」や「スマートカー」ってなんですか？	130
5-5	電気自動車が普及すると道路はどのようになっていくのですか？	132
5-6	道路や交通に関するさまざまな調査について教えてください。	134
5-7	高速道路の有効活用とはどのようなものですか？	136
5-8	最近、サービスエリアが充実していますが、どうしてですか？	138
5-9	宅配便のコンテナを貨物列車で運んでいましたが、どうして ですか？	140
5-10	道路を自由に使っているのですか？	142
5-11	高齢者や体の不自由な人のためにどんな工夫をしているの ですか？	144
5-12	自転車はどこを走ればよいのでしょうか？	146
5-13	バスや路面電車を便利にするためにどんな工夫がされて いますか？	148
5-14	ものを円滑に運ぶ工夫にはどんなものがあるのですか？	150
5-15	道路の地下はどうなっているのですか？	152
5-16	車両によって通れなくなる道路があるのはなぜですか？	154
5-17	開かずの踏切とはどんな道なのですか？	156

6 道の夢

6-1	道のロマンが詠まれた詩歌にはどんなものがあるのですか？	160
-----	-----------------------------	-----

6-2	道と深いかかわりのある歴史上の人物を教えてください。 ……	164
6-3	夢の道と呼ぶにふさわしいむかしの道のはなしをしてください。 ①古の人々の曙の道—わが国最古の道「山の辺の道」、 巡礼の道「熊野古道」 ……	168
6-4	夢の道と呼ぶにふさわしいむかしの道のはなしをしてください。 ②古の人々の曙の道—東西文化交流の大動脈「絹の道 (シルクロード)」 ……	172
6-5	夢の道と呼ぶにふさわしいむかしの道のはなしをしてください。 ③夢とロマンの旅街道「東海道」 ……	174
6-6	夢の道と呼ぶにふさわしいむかしの道のはなしをしてください。 ④市井の人情あふれる「江戸のまちとみち」 ……	178
6-7	夢の道と呼ぶにふさわしいむかしの道のはなしをしてください。 ⑤恩讐の彼方に「青の洞門」 ……	182
6-8	夢の道と呼ぶにふさわしい近代や現代の道のはなしをしてください。 ①滑走路と間違われた道路づくり「御堂筋」 ……	184
6-9	夢の道と呼ぶにふさわしい近代や現代の道のはなしをしてください。 ②海底をつないだ夢のトンネル「関門トンネル」 ……	188
6-10	夢の道と呼ぶにふさわしい近代や現代の道のはなしをしてください。 ③日本で最初の高速道路「名神高速道路」 ……	192
6-11	夢の道と呼ぶにふさわしい近代や現代の道のはなしをしてください。 ④夢の架橋「明石海峡大橋」 ……	196
6-12	夢の道と呼ぶにふさわしい近代や現代の道のはなしをしてください。 ⑤アジア地域を結ぶ「アジアハイウェイ構想」 ……	200
	参 考 文 献 ……	202